

# スキー技術競技実施要項

## 1. 競技

スキー技術競技とする。

## 2. 競技規則

大会開催年度の財団法人全日本スキー連盟(略称 SAJ)の競技規則及び全国ろうあ者冬季体育大会申合せ事項による。

## 3. 種目

男女別各7種目とする。

但し、JASによる競技名称の変更が生じた場合、これを優先とする。

パラレルターン小回り(整地された急斜面)

パラレルターン小回り(不整地の急斜面)

パラレルターン小回り(カービング)(整地された中斜面)

パラレルターン中回り(カービング)(整地された中斜面)

パラレルターン大回り(整地された急斜面)

大回り規制(左右3回ラビット)(整地された中急斜面)

総合滑降(不整地を含む総合斜面)

## 4. 出場資格

年齢制限はなし。

## 5. 競技方法

ある指定の斜面を指示された技術で滑り、その滑りを審判員が採点する。得点方式は、各種目を100点満点とし、減点法で採点し、5審3採用制で採用得点の合計点で成績順位を決める。但し、制限滑降を採用する場合は、組織委員会が承認した方式により計時記録を得点に換算する。

## 6. 採点方法及び基準

### 【評価の観点】

ターン運動の構成(ポジショニング、エッジング)

斜面状況への適応度(スピードと回転弧のコントロール)

運動の質的内容(バランス、リズム、タイミング)

### 【相対点数】

到達技能レベルに対して

かなり優れている	+ 3 点
優れている	+ 2 点
やや優れている	+ 1 点
標準である。	0 点
やや劣る。	- 1 点
劣る。	- 2 点
かなり劣る。	- 3 点

技術未熟による転倒	- 3点
不可抗力による転倒	- 1 ~ - 2点
理解力不足による演技ミス	- 3 ~ - 5点
フィニッシュライン不通過	- 1 ~ - 2点

## 7. スタート順のドロー

最終申込締切日後の1週間以内に競技主管と実行委員会で加盟団体ごとにスタート順のドローを行なう。

競技は、男子1種目5人毎に、女子1種目3人毎に、交代でスタートする。但し、最後の総合滑降は、前日までの6種目総合成績の低い者から順番にスタートする。

## 8. 表彰

表彰は、競技終了後の1時間後に行なう。

男女とも種目別に1位から3位まで賞状とメダルを授与する。

個人総合については、1位から6位まで賞状と楯を授与する。

## 9. チームキャプテン会議

チームキャプテン会議出席者は、加盟団体チームキャプテン、コーチの各1名とする。また選手がこれらを兼任することもできる。

一般選手は、一切異議などは認めないが傍聴はできる。

## 10. その他

スキーウェアは自由とする。

但し、スノーボード用のウェアは着用しないこと。

アンフェアな行為をした者は失格とする。

競技中は、頭部を保護するもの帽子等を着用しなければならない。但し、ヘアバンドは防護するものとみなす。

演技について

イ) 競技者は種目別スタート地点に集合し、スタート審判のコールを受け応答しなければならない。競技者は、前者の出発後、直ちにスタート地点に立ち、出発のための準備をしなければならない。

ロ) スタート係員とフィニッシュ係員が同時に赤旗を振ったときにスタートする。

ハ) 転倒した場合でもフィニッシュまで滑ること。

ニ) フィニッシュは、競技コートの下方に設置された旗門を結ぶフィニッシュ・ラインを通過しなければならない。

演技の中断及び途中棄権

演技の中断、途中棄権を行う場合は、次の各号に掲げる要領により行う。

イ) 演技を中断した場合には、その位置で態勢を整え速やかに再スタートする。但し、中断が長引くと判断した場合は、審判長の指示に従い行動する。

ロ) やむを得ず途中棄権する場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコース外に移動する。この場合において当該種目の得点は0とするが、次の種目からの出場権は保持される。

スキー技術競技日程

第1日目にバーンの状況を見て7種目の内、5種目を実施し、第2日目に残り2種目を実施する。最終日の最後の種目は総合滑降とする。

スキー技術競技のスタッフ体制

競技委員長:競技主管に依頼

技術代表 :競技主管に依頼

審判員:競技主管スキー連盟で公認B級検定員以上2名・全日本聴覚障害スキー指導員会所属  
で聴覚障害者公認B級検定員以上1名

ゲスト審判:競技主管に一任

各種目の内容は下記の通りの内容を原則とする。但し開催地のスキー場のバーンの状況により  
競技主管の判断で範囲の変更を認める。

パラレルターン小回り(整地) 整地された急斜面 およそ20m×150m

パラレルターン小回り(不整地) 不整地の急斜面 およそ20m×150m

パラレルターン小回り(カービング) 整地された中斜面 およそ20m×150m

パラレルターン中回り(カービング) 整地された中斜面 およそ20m×150m

パラレルターン大回り(整地) 整地された急斜面 およそ40m×150m

大回り規制(整地) 整地された中急斜面 およそ40m×150m

左右3本均等フラッグ(三角フラッグもしくはラビットポール使用)の6回転

総合滑降 不整地を含む総合斜面 およそ50m×300m

・2005年2月27日 第7回全国委員会で一部改正

#### **【本大会申合せ事項】**

男女とも種目別に、1位から3位まで賞状を授与する。